

1、昭和五十二年度の研究主題

「国語の基礎学力の向上をはかるにはどのようにしたらよいか」

ひとり一人の子どものつまずき意識をふまえた音読・朗読

および漢字指導の具体的方法を研究する

2、書取り採点規準についての話しあい

三年生の子どもの字 100 字についての各自の採点を検討し採点規準について話しあった

協議の結果申し合わせたこと

[指導の時は一点一画はもちろん、とめ、はね、つく、はなす等について厳しく指導するが、書取りテストでの採点は、子どもの発達段階に応じて許容範囲を広げ、原則として下記以外の字は正答とする ・画数の過不足 ・反対方向へのはね]